

## 平成28年度 第42回 飛鳥史学文学講座—やまと・あすか・まほろば塾—

- ・会 場: 明日香村中央公民館 近鉄岡寺駅から徒歩15分  
奈良県高市郡明日香村川原(TEL:0744-54-3636)  
—開講日には近鉄飛鳥駅から受講者専用バス(無料)を運行—
- ・時 間: 午後1時15分から約2時間  
4月10日のみ開講式を午後1時から行います。
- ・受講料: 各回1,000円(年額5,000円、いずれもテキスト代含む)

|      | 平成28年度<br>開講日     | 所属                | 講師(敬称略) | 演題                                     |
|------|-------------------|-------------------|---------|--|
| 第1講  | 4月10日(日)          | 橿原考古学研究所<br>所長    | 菅 谷 文 則 | 飛鳥出土の道祖石像は、ソグドの神をモデルにしていたか？            |
| 第2講  | 5月8日(日)           | 関西大学文学部教授         | 長 谷 洋 一 | 運慶・快慶以後の奈良仏師<br>—叡尊と善派仏師—              |
| 第3講  | 6月12日(日)          | 明日香村教育委員会<br>文化財課 | 西 光 慎 治 | 日本国創成と槻の木広場<br>—発掘された蘇我氏と大王家の実像—       |
| 第4講  | 7月10日(日)          | 関西大学文学部元教授        | 大 濱 眞 幸 | 「こころ」を紡ぐ「ことば」<br>—「乱」(みだる)の原義を手がかりとして— |
| 特別講座 | 8月7日(日)           | 明日香村村長            | 森 川 裕 一 | 古代飛鳥の国づくり<br>—土木屋から見た“日本国創成”—          |
| 第5講  | 9月11日(日)          | 関西大学名誉教授          | 藪 田 貫   | 日本女性史のなかの「女帝」                          |
| 第6講  | 10月9日(日)          | 関西大学文学部教授         | 米 田 文 孝 | 飛鳥寺の発掘60周年を考える<br>—調査研究の成果とその意義—       |
| 第7講  | 11月13日(日)         | 関西大学文学部教授         | 乾 善 彦   | 「双六の頭を詠める歌」を読む<br>—万葉人と数—              |
| 第8講  | 12月11日(日)         | 関西大学文学部教授         | 西 本 昌 弘 | 皇子たちの殯宮と葬地                             |
| 第9講  | 平成29年<br>1月15日(日) | 関西大学文学部教授         | 藤 田 高 夫 | 飛鳥と古代の国際環境<br>—古代東アジアから飛鳥をみる—          |
| 第10講 | 3月12日(日)          | 関西大学文学部教授         | 黒 田 一 充 | 大和神社のちゃんちゃん祭り                          |

**申込連絡先 TEL:06-6368-0055**  
**関西大学教育後援会内 飛鳥史学文学講座 係**

主催: 関西大学飛鳥文化研究所、明日香村教育委員会  
後援: 関西大学千寿会、明日香村文化協会、飛鳥史学文学講座振興会